

宮城大学食産業学群リスキリング事業
「地域食産業中核人材育成プログラム」
～地域の売れる商品を創出する
MIYAGIフードクリエイター育成講座～

目指す育成人物像

- ・食品産業において即戦力となる専門性を持つと同時に、長期的な視点で企業の成長に貢献できる人材
- ・経営者や管理職候補として、チームのビジョンを示し、他者を巻き込んで実現できる人材
- ・食材や加工技術に興味を持ち、顧客のニーズを理解して商品に反映できる創造力がある人材
- ・異なる部門や他社との協力が必要となる現代の食品産業においては、円滑なコミュニケーション能力がある人材

受講対象者：宮城県内に製造拠点がある中小企業の社員

各コース（「ビジネスを思考する」「素材を思考する」「製造を思考する」）30名

会場：宮城大学 太白キャンパス（仙台市太白区旗立2丁目2-1）

受講料：無料

スケジュール、科目

7月 開校式

講義は隔週土曜日の14～16時に開催、講義（60分）
質疑応答・グループワーク（60分） 計120分

8月～9月

「ビジネスを思考する」（3講座）

- ・経営戦略の基礎と中核人材の課題解決力
- ・原料高騰時代の利益を守るマーケティングとコスト戦略
- ・人材不足時代におけるチームの力を引き出す育成とモチベーション向上～ゼブラ企業の視点を活かして～

10月

「素材を思考する」（2講座）

- ・地域食材の特徴・活用法（野菜編）
- ・温暖化で食材がどう変わる？（果物・野菜編）

11月

「製造を思考する」（3講座）

- ・伝統的食品加工技術
- ・オリジナル加工技術の特徴・活用
- ・地域に特徴的な調味技術

12～1月

「職場復命」

- ・受講の内容を経営者等に復命
- ・受講を通して自社で実践で改善取組を検討

2月 閉校式

受講により得られるスキル・マインド

- ・経営戦略に基づき事業の企画が立案できる
- ・事業に沿った商品が設計できる
- ・地域の食材を組み合わせ付加価値が見出せる
- ・社会貢献につながる新事業が創出できる

企業に対する効果

- ・直接的な効果として、企業内での業務効率向上や新規事業の展開が可能
- ・間接的な効果として、プログラムを通じた企業間交流
- ・社員のモチベーションの向上による離職率の低下や企業全体の活性化
- ・企業が持続的に成長するための基盤形成

地域社会への効果

- ・地域産業の活性化を通じて、宮城県全体の経済振興や雇用創出に寄与

リスキング教育プログラムの特徴

1. 現場ニーズに即したカスタマイズ型教育

プログラムは、食品産業における具体的な課題や企業ごとのニーズに基づいてカスタマイズされています。各企業の状況を事前にヒアリングし、その結果をもとに最適なカリキュラムを構築。たとえば、商品開発力の強化を求める企業にはマーケティングやフードデザインを重点的に、労務管理の改善を課題とする企業にはリーダーシップやマネジメントの育成に重点を置いた内容を提供します。

2. 多様な学習形式の採用

座学と実践を組み合わせた多様な形式で教育を行います。講義形式での基礎知識の習得に加え、実際の企業事例をケースとしたグループワークを通じて、学んだ知識を即座に実践に移せるよう工夫されています。また、オンライン学習にも対応し、働きながらも柔軟に学べる環境を整備しています。

3. 地域性を重視した内容

宮城県の食品産業が特に重視する地元食材の活用や地域特有の食品技術、文化を反映したカリキュラムを提供します。地元産品の魅力を深く理解し、それを市場で効果的にアピールする方法を学ぶ機会を提供。これにより、地域の特色を活かした商品開発力が向上します。

4. 多分野からの専門家による指導

食品産業における多様な課題に対応するため、大学内外の専門家が連携して指導に当たります。食品科学、フードサービス、マーケティング、経営学など、多分野の知識を融合させた教育を行うことで、参加者は広い視野を持ち、課題解決能力を高めることが可能です。

5. メンタリングによるフォローアップ体制

プログラム期間中は、参加者が学んだ知識やスキルを活用し続けられるよう、継続的なフォローアップを提供します。教員や講師によるメンタリングを通して受講生が企業内で課題解決するための相談に対応します。

6. 地域社会との連携

プログラムは宮城県や産業団体とも連携し、地元企業間のネットワーク形成を支援します。このネットワークを活用することで、参加者は自社以外の企業の成功事例や課題解決の知恵を共有し、新たなビジネスチャンスを模索することができます。

募集時期：令和7年4月～6月

受講に関する留意点

- ・希望する科目を受講することとし、全ての科目を受講することを必須条件とはしません
- ・受講に関しては、会場での対面参加か遠隔でのオンライン参加のいずれかとしますが、対面参加を推奨します
- ・一定の科目を受講し閉校式に参加した方にはオープンバッチを付与します
- ・オンライン講義や出欠・課題管理については、Microsoft社のTeamsを使用する予定です。申込とあわせて、Teamsの利用環境を整えてください（無償版で対応可能です）

受講の仮申し込みはこちら

（募集開始時期になりましたら改めてご案内します）

受講に関するお問い合わせはこちら



宮城大学食産業 リスキング事業 Webサイト

4月になりましたら公開の予定です。